



川の再生地域交流会を開催

県内2会場、計67名が参加



埼玉県のマスコット
「コバトン」

「川の再生地域交流会」は、地元の団体の方々企画し、川の魅力や活動の成果を紹介します。また、県内各地から集まった参加者が交流を深める場でもあります。

H29年度「川の再生地域交流会」は、さいたま市と草加市の2会場で開催し、それぞれ18名、49名の方が参加しました。

さいたま市 高沼用水 (5月31日(水)) 企画：こうめま・水と緑を楽しむ会

「高沼用水」は、与野本町と中浦和を流れる歴史ある用水路です。昔からの自然を活かした整備工事が進められ、現在は市民の憩いの場となっています。用水が流れる「河童の森」は団体の活動の中心であり、まちの人たちと話し合いながら、里山の自然を作ってきました。地元の子供たちにとって身近な学習や遊びの場となっています。

交流会の当日は、「高沼用水」沿いと「河童の森」を歩き、



高沼用水沿いを見学する参加者



交流タイムは活動の展示も実施



カヌーでゴミ拾いを体験する参加者



交流タイムでのグループ討論

整備工事の前後における用水路の変化や、森に植えられた様々な植物や生き物を見学しました。午後の交流タイムでは、JR環境空間の活用や、行政との関わり方など、活発な意見交換が行われた他、活動に関する展示も好評でした。

草加市 綾瀬川 (6月10日(土))

企画：草加パドラーズ、獨協大学経済学部米山ゼミ

「伝右川再生に向けた支援プロジェクト」チーム

草加市で活動する2団体の協力により企画・運営されました。草加パドラーズと米山ゼミは、カヌーなどで綾瀬川や伝右川のごみ拾いをするという、特徴的な活動を行っています。

交流会の当日は、日頃の活動を参加者に体験してもらうべく、「カヌーでゴミ拾い体験」と、団体の案内により、活動場所である「草加松原・綾瀬川見学」を行いました。午後の交流タイムは、米山ゼミの学生さんたちの進行で、グループ討論会が行われました。行政との連携、カヌーを用いた活動、更なる水質改善案などについて、様々な意見が発表されました。全グループに学生さんが加わり発表を担当するなど、世代間の交流も深まりました。

発行

埼玉県環境部水環境課 〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 (第3庁舎1階)

TEL:048-830-3088 FAX:048-830-4773 E-mail: a3070-03@pref.saitama.lg.jp

川の国応援団のHP <http://www.pref.saitama.lg.jp/a0505/kawanokuniouendan/index.html>

会員のひろば 活動報告

～634団体が県内各地で活動中！～

今年の夏は、県内39会場
で「川ガキ体験イベント」が
開催されました。開催した2団
体からの報告を紹介します！

「川ガキ体験イベント」は7～9
月に開催し、約1500人の子供た
ちが川ガキを体験しました。多く
のご参加ありがとうございました。



宮代町 山崎山こどもエコクラブ 「水辺の生きものと水質調べ」 八木橋孝雄

毎年実施している調査ですが、
今年も、7月16日(日)に、宮代
町の笠原落川及び新しい村周辺の
用水路で、24名の参加者のもと、
生きものと水質の関係を調べまし

た。汚れの判定には、水生生物に
よる判定と、CODのパックテスト
を使いました。
参加者に、水質調査資料と水生
生物による水質判定の下敷き及び、
埼玉県に生息する魚類の下敷きを
配布し、注意点を話して、調査開
始です。

子供たちは、網を持って先に立
って歩き始めました。最初の調査
場所は、新しい村の裏の池です。
始めの調査は、網を使っての、水
の中の生きもの調べです。各人の
網の中には、動くものが多数見ら
れ、子供たちは、我先にと捕まえ
ようとしていました。ヌマチチブ、
モツゴが確認できました。池の水
面上では、オオヤマトンボ、チヨ
ウトンボ、シヨウジョウトンボが
確認できました。次に、CODによ
る調査をしました。子供の指が小
さくて、パックテストを押しつぶ
して水を入れるのが大変でした。

経過時間を
へて、判定
色見本との
比較をしま
した。その
ときの子供
の真剣さに
は驚きまし
た。その結
果、この池



の、CODは、4～6ppmでした。
同じ調査を、笠原落川、田んぼ
の用水路で実施しました。スジエ
ビ、メダカ、ドジョウが確認でき、
CODは、およそ0～2でした。水
の汚れや水質によって、生息する
生きものが異なることを学んだ時
間になりました

川口市 自然探検コロポックルくらぶ 「綾瀬川を愛する会 夜の森の生き物さがし」 横山 隆

8月5日(土)、綾瀬川の河畔林
「綾瀬の森」で、「夜の森の生きも
のさがし」を開催し、70名の親子
が参加しました。夏休みなので、
日ごろできない夜の探検にみんな
ワクワクでした。

ところが開催を前に事件が起き
ました！綾瀬川の土手に遊歩道を
建設するというのです。土の中に
いるセミの幼虫はどうなるのか、
子供たちは心配しました。そこで
市の担当職員にお越しいただき、
子供たちが意見を言う「綾瀬川未
来会議」を同時開催しました。子
供たちからは「綾瀬の森は、人も
生き物もくらせる土の道がいい」
という意見が多く出され、保護者

からも「子供に土を踏ませたい」と
いう意見が出ました。子供たちが
町づくりの意見を言う姿はとても
貴重でたくましかったです！

日が暮れて暗くなったら、生き
物探し開始です。夜の生き物はど
うやって暮らしているのかな？ト
ンボやチヨウの眠っている姿、カ
マキリの元気な動きを観察。マツ
ヨイグサの花は咲いて、ネムノキ
の葉っぱは眠っていました。今年
はセミの羽化は非常に少なく近く
で見ることができなかったのです
が、クワガタが2匹も捕まり、子
供たちは大喜びでした。そして終
りの会で「葉っぱの影絵」を見て、
最後に森にお礼のあいさつを言い
ました、「おやすみなさ～い」。そ
して終了後もまだまだ森に残り、
夏の夜を満喫していました。

都市化され町の中の自然が少なく
なる中で、土手の自然は、生き物
にも人間にもとても大切だと思ひ
ます。追
伸：綾瀬の
森は「自然
ふれあい
ゾーン」と
して土の
道が残る
ことにな
りました。



水生生物講座の報告

5月27日(土)、埼玉県立川の博物館において水生生物講座を開催しました。本講座は、川に生息する水生生物の知識を得ることで、五感による河川環境指標をより活用していただくため、毎年実施しています。

当日は、博物館学芸員の藤田宏之講師に、現地実習から講評、質疑応答までをお願いしました。

藤田講師による注意事項の後、早速かわせみ河原付近の荒川で実習を開始しました。まず、石をひっくり返して附着する生き物を採取し、続いて網を使用して水中を流れる生き物を取りました。

「水生生物による水質判定の下敷き」を参考に、これらの生き物から、荒川のかわせみ河原付近は水質階級「Ⅱ」のきれいな水、やさしい水と評価されました。

参加者からは、「見たこともない生き物を確認できた」、「少し川に入るだけでこれだけの生物を確認できると思わなかった」等の感想がありました。



河原で生き物を採取

また、五感による河川環境指標(川の好感度チェック)を実施しました。結果は「水は流れがあり澄んでいて、魚は見当たらなかった。ごみは少しみられ、全体の景色は美しく、住民によく利用されている。」となりました。



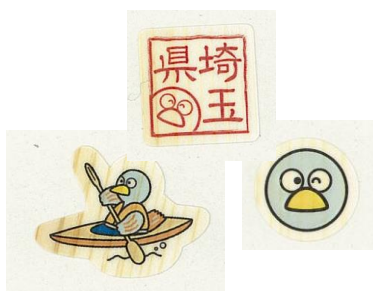
下敷きを参考に水質判定

今回採取された生き物：カワゲラ類、ヒラタカゲロウ類、ヒゲナガカワトビゲラ、チラカゲロウ、タニガワカゲロウ類、ヒラタドROMシ類、ナベバタムシ、カワリヌマエビ等でした。

川の国埼玉検定(入門編)の報告

8月5日(土)コムナーレ(さいたま市)で開催された、さいたまエコフェスタ in Summer 2017において、川の国埼玉検定(入門編)を実施しました。小学生など、106人が検定に参加しました。入門編では、埼玉県の川や、川の汚れの原因、川の生き物についてのクイズを5問解いてもらいます。

全員が5問中4問以上正解し、認定証と、木のコバトンシール、コバトン定規などを差し上げました。メイン会場や、その他のブースでも、生き物展示や工作、様々な体験イベントが開催され、盛り上がりました。



木のコバトンカットシール



検定に参加した子供たち



川の国埼玉検定ブース

綾瀬川再生流域会議を実施

9月8日(金)、さいたま共済会館において綾瀬川再生流域会議を開催しました。今回で10回目の開催となります。

当日は12の団体(内、応援団は9団体)と、3環境管理事務所、7市町村、水環境課が参加しました。

水環境課から綾瀬川の水質と県の取組についての説明の後、団体間で連携を深めるための情報共有や、流域全体を進める「綾瀬川クリーン大作戦」について話し合われました。

応援団への支援メニュー に関するお知らせ

■カヤックを追加購入しました

川ガキイベント等で活用いただいていたカヤックを新しく購入しました。従来の水環境課での貸出しに加え、東松山環境管理事務所、越谷環境管理事務所の2か所でも各7艇、貸し出しを開始しています。是非ご利用ください。

■活動予定を県HPに掲載します

川の国応援団のイベント・活動情報(日程、チラシ等)を、県のHPに掲載します。ご希望の場合はお問合わせください。
*一般参加可能な公募イベントに限りです。

水環境課からの「ご連絡

◎応援団の連絡先について問合せ先を公表してよい場合はお知らせください

「川でボランティアをした」という方などが問合せできるように、県のHPで、応援団への連絡先(住所、TEL等)を公開してもよい団体は、水環境課までご連絡ください。



◎応援団の代表者変更手続きについて

応援団への通知を送付の際に、宛先不明で届かないケースが増えています。応援団の代表者や担当者連絡先が変更となった場合は、水環境課までご連絡ください。
メール、FAX、TELいずれも可能です。
ご協力お願いいたします。

イベントのご案内

■川の国埼玉検定(中・上級編)

あなたも川のなんでも博士！川の再生活動の経験が5年以上の方を対象に実施します。当日は、試験の前に埼玉県の川の知識を学べる講座も実施します。ぜひ、チャレンジしてみませんか。

日時：平成29年11月25日(土)

会場：埼玉教育会館201会議室

申込：平成29年11月10日(金)まで

当日消印有効



昨年度の検定の事前講義の様子。20名が受験し、16名が上級に合格、4名が中級に合格しました。



■イベント企画・広報講座

イベントや普段の活動にもっと参加者を集めたい！そのための、企画や広報(チラシづくり)のポイントについて、プロの講師による講義を実施します。川で安全に活動するための、ライフジャケット着用実習も実施予定です。

日時：平成30年1月17日(水)

会場：埼玉共済会館501・502会議室

申込：平成29年12月13日(水)まで

対象：応援団の会員、川の国アドバイザー(*)

*川の国アドバイザー研修(同日AM開催)の参加者で希望される方

■川の再生交流会

川に関心のある方が集まる一大イベント！今年は心機一転し、研究成果や活動内容についてのポスターセッションを新設します。学生分科会は、学生主体の企画・司会進行形式にリニューアルします。

日時：平成30年2月3日(土)

会場：さいたま市民会館うらわ

申込：開催案内を12月下旬頃公開予定です。



H28年度の開会式

申し込み方法・期限等の詳細は、水環境課ホームページ、団体宛通知をご確認ください。